

令和3年度



木津川市 決算のあらまし

木津川市の家計簿



もくじ

はじめに	1
令和3年度 木津川市決算一覧	1
木津川市の収入状況	2
木津川市の支出状況	3
基金(=貯金)の残高	4
市債(=借金)の残高	5
健全化判断比率の状況	6
その他の財政指標	7
令和3年度の主な事業	8
都市計画税に関する事業	14
木津川市の家計簿	巻末

木津川市の
財政状況を
わかりやすく
解説します。



木津川市マスコットキャラクター
いづみ姫

はじめに

地方公共団体は、市民のみなさんから納めていただいた税金などを財源として、いろいろな事務・事業（仕事）を行っています。

年度の始まる前に仕事の計画とそれに必要な経費や財源について、1年間の収支計画である「予算」を作成し、年度が終わった後に、予算で決められたお金の使い道に沿って、実際にどのようにお金が使われたか明らかにしなければなりません。このような1年間の収入と支出の実績を「決算」といいます。

木津川市では、市民のみなさんが納めた税金がどのように使われているか、木津川市の財政がどのような状況にあるのかを知っていただくために、「木津川市決算のあらまし（木津川市の家計簿）」を作成しています。

令和3年度 木津川市決算一覧

● 3種類のおサイフ

木津川市のおサイフ（会計）は、わかりやすい会計を行うために、一般会計のほかに特別会計と企業会計に分かれています。このおサイフごとにそれぞれ1年間の収入と支出の計画である「予算」をたてて事務・事業を行っています。この冊子では、一般会計の決算を中心に説明します。



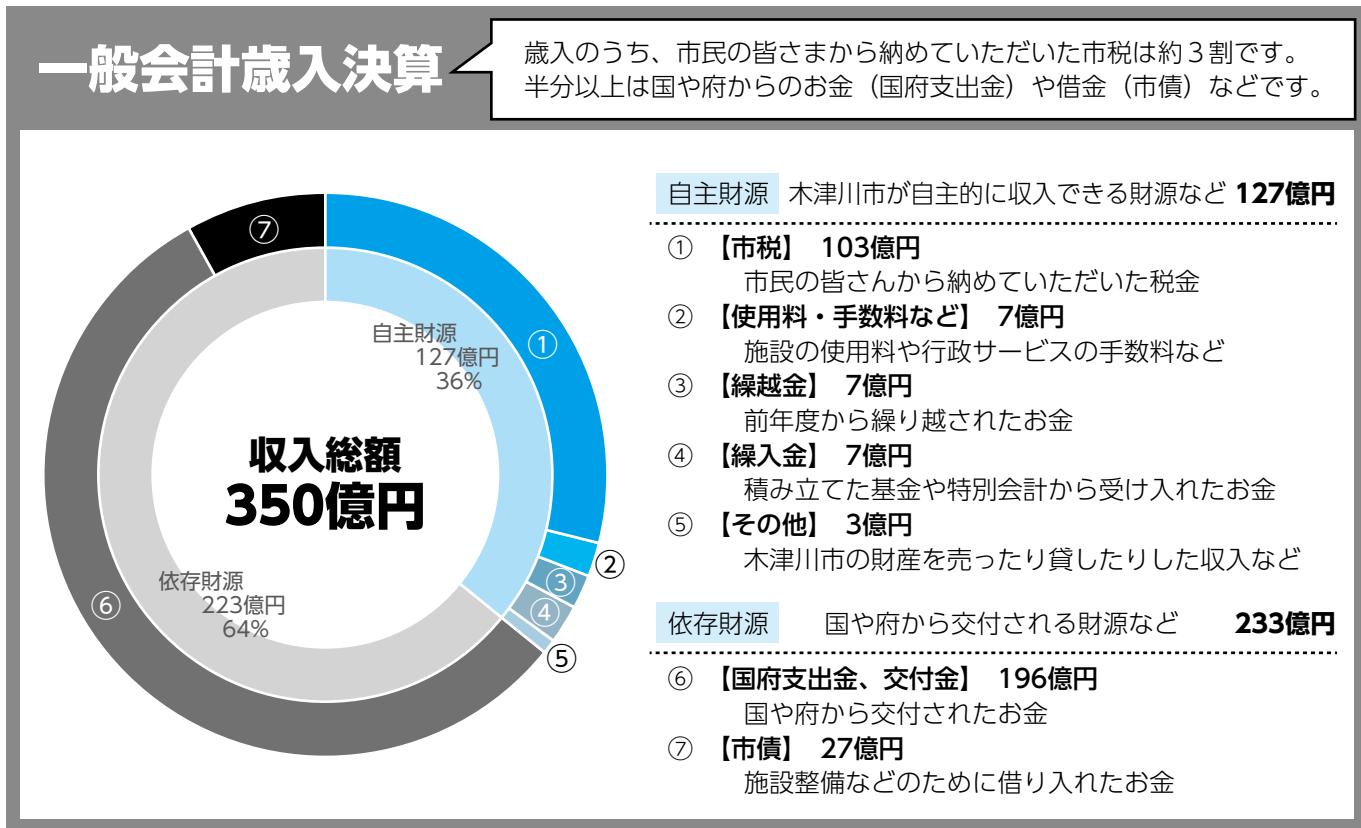
(単位：万円)

会計別		歳入	歳出	差引額
一般会計		3,498,296	3,351,701	146,595
特別会計	国民健康保険特別会計	726,332	716,439	9,893
	後期高齢者医療特別会計	108,709	107,835	874
	介護保険特別会計	550,871	534,589	16,282
	旧北村旧兎並村旧里村財産区特別会計	96	67	29
	旧加茂町財産区特別会計	160	130	30
	旧瓶原村財産区特別会計	912	828	84
	旧当尾村財産区特別会計	104	71	33
	旧木津町準財産区特別会計	2,167	2,167	0
公営企業会計	水道事業会計	収益的収支(税込み)	193,793	186,032
		資本的収支(税込み)	15,371	53,884
	公共下水道事業会計	収益的収支(税込み)	231,733	229,837
		資本的収支(税込み)	61,238	112,591
合計		5,389,782	5,296,171	93,611

※水道事業会計および公共下水道事業会計の収支不足分については、内部留保資金等で補てんしています。

木津川市の収入状況

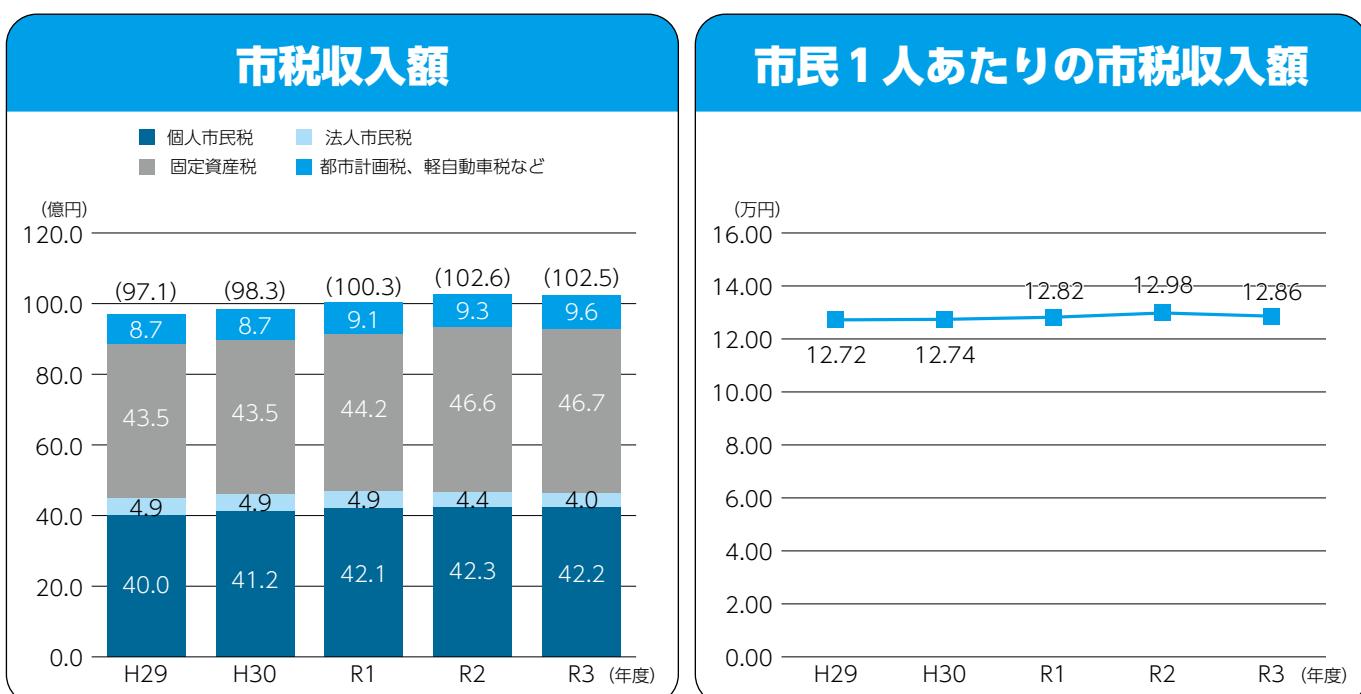
「木津川市の収入にはどのようなものがあるのか」という視点で、令和3年度の一般会計（決算）を例に収入の状況を紹介します。



※「国府支出金、交付金」の中には、みなさんがお買い物されたときに支払う消費税のうち、地方消費税分15億1,205万円の交付金があります。この交付金のうち税率引上げ分9億2,993万円は、すべて児童福祉や健康増進などの社会保障施策のために使いました。

●市税の中身

土地や家屋にかかる固定資産税と個人市民税の割合が大きく、あわせて約8割を占めています。また市民1人あたりの市税収入は約13万円であることがわかります。



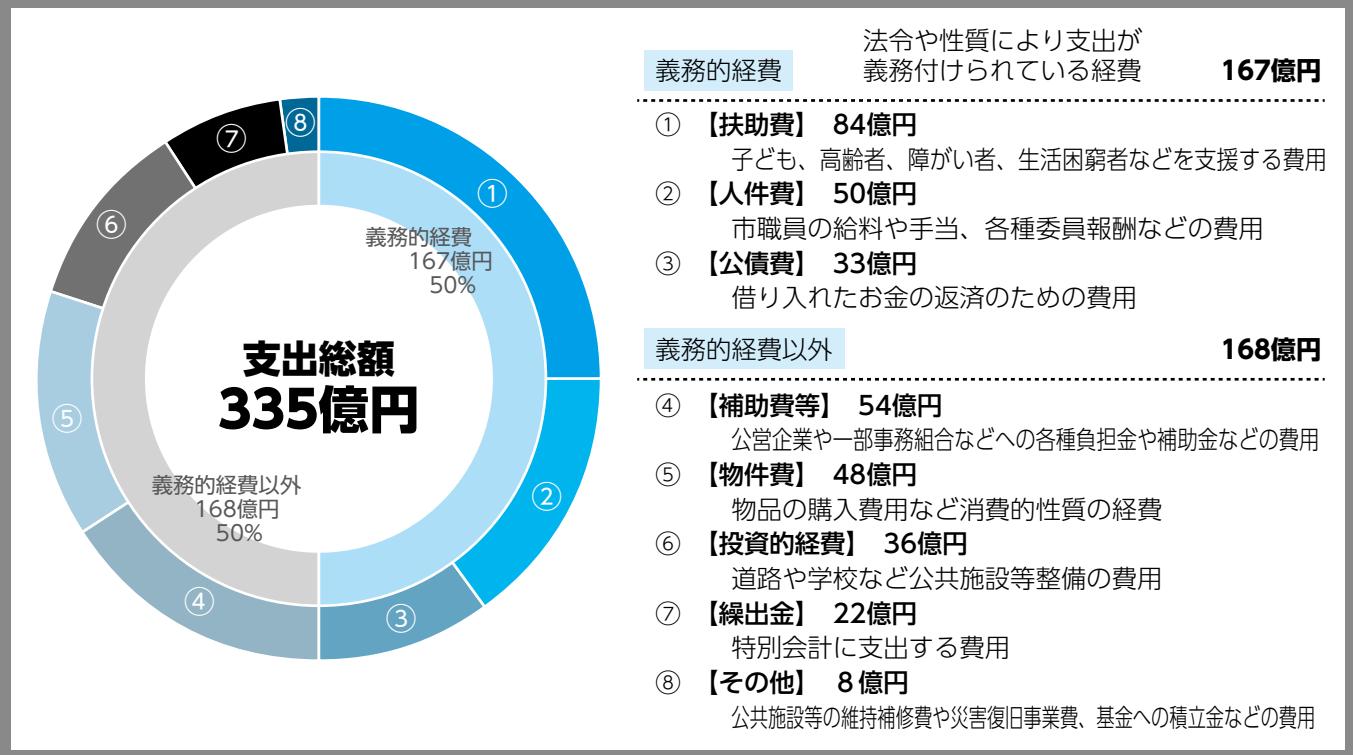
※市民1人あたりの市税収入額は、各年1月1日時点の人口で割ったものです。

木津川市の支出状況

木津川市が使ったお金を「どのような経費に使ったか」、「何のために使ったか」という2つの視点で、令和3年度一般会計（決算）を例に支出状況を紹介します。

どのような経費に使ったか 【性質別】一般会計歳出決算

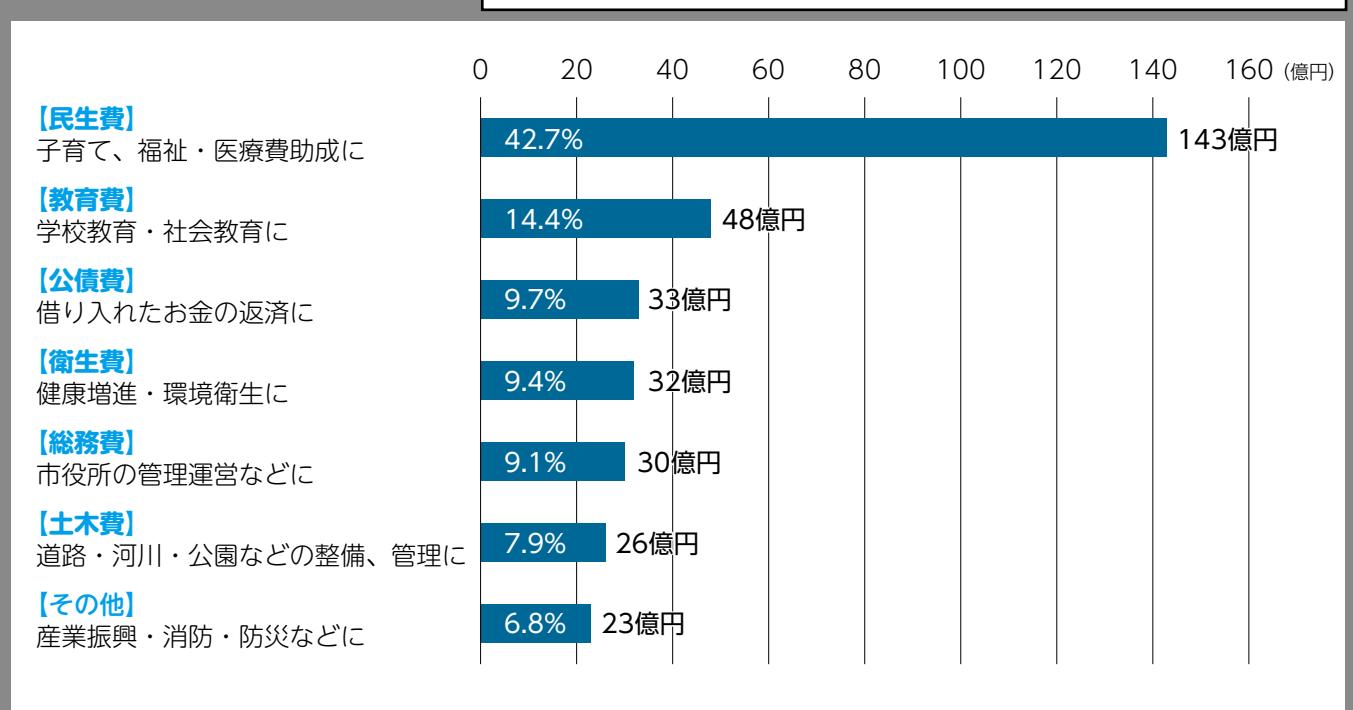
扶助費、人件費、公債費のような必ず支払わなければいけない経費（義務的経費）の割合が大きいほど、財政の硬直化が進んでいることを示します。



※地方財政状況調査に基づくため、令和3年度一般会計歳出決算額とは一致しません。

何のために使ったか 【目的別】一般会計歳出決算

子育てや福祉、道路の整備、教育、健康増進など幅広い分野にお金が使われています。



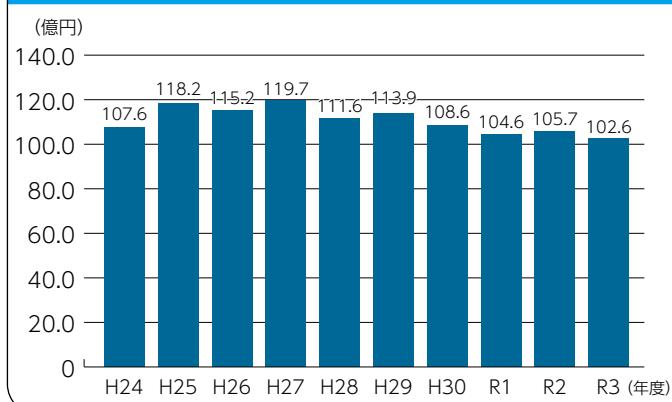
基金（＝貯金）の残高

●木津川市の貯金「基金」

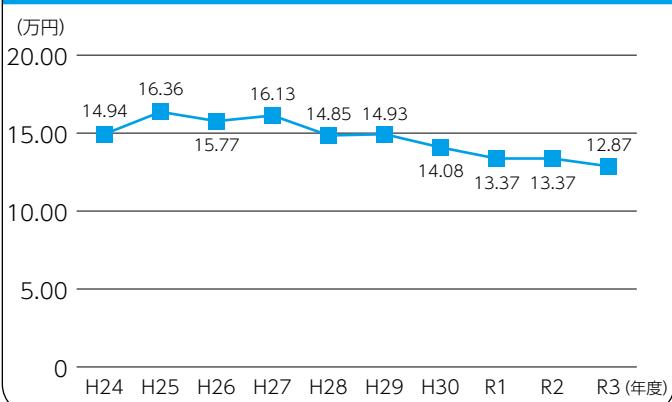
木津川市にも貯金があり、「基金」と呼ばれています。基金はそれぞれ目的が決まっており、その目的のために積み立てたり、取り崩したりしています。

木津川市の基金には、公共施設などの整備の円滑化と促進を図るための基金である「公共施設等整備基金」、地域における福祉及び保健に関する事業の推進を図るための基金である「地域福祉基金」、ごみ減量と再資源化を進め、次世代に豊かな自然環境を継承する事業の推進を図るための基金である「循環型社会推進基金」、学研木津北地区の里地里山保全事業を円滑かつ効率的に行うための基金である「学研木津北地区里地里山保全基金」、下記で説明する「財政調整基金」などがあります。

基金現在高



市民1人あたりの基金現在高

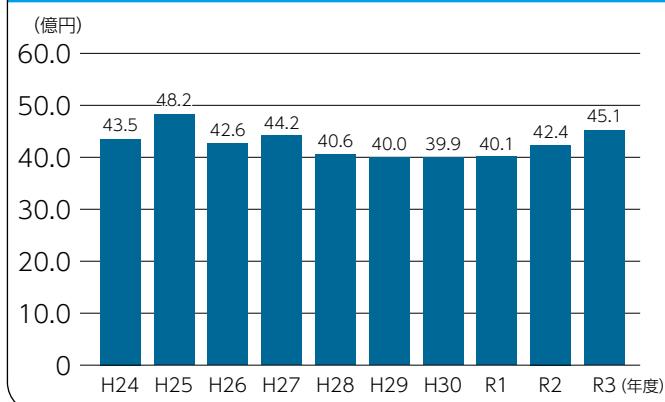


※一般会計に属する基金の残高です。

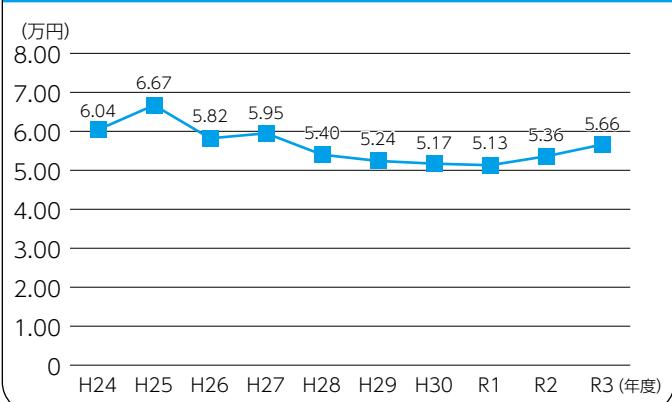
市民1人あたりの基金現在高は、各年1月1日時点の人口で割ったものです。

令和3年度は、普通交付税合併算定替特例措置の縮減に備えるための基金である「合併算定替遞減対策基金」やクリーンセンターの建設整備の資金を確保するための基金である「清掃センター建設整備基金」などで多額の基金取り崩しを行ったため、年度末残高が減少しました。

財政調整基金現在高



市民1人あたりの財政調整基金現在高



※市民1人あたりの財政調整基金現在高は、各年1月1日時点の人口で割ったものです。

「財政調整基金」は、予期せぬ収入の減少や思わぬ支出の増加に備えて、前年度決算余剰金などを積み立てている基金です。令和3年度も令和2年度に引き続き、年度末残高が増加しました。

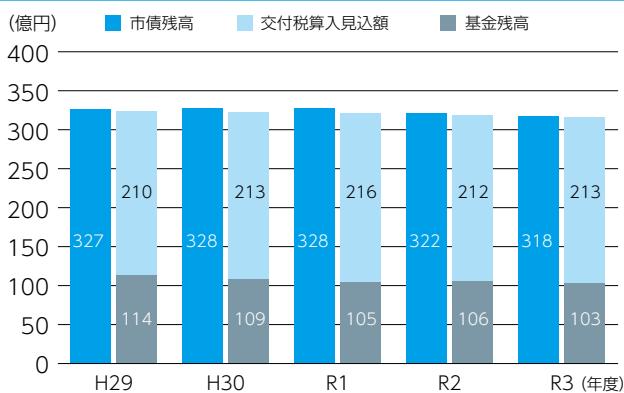
市債（＝借金）の残高

●木津川市の借金「市債」

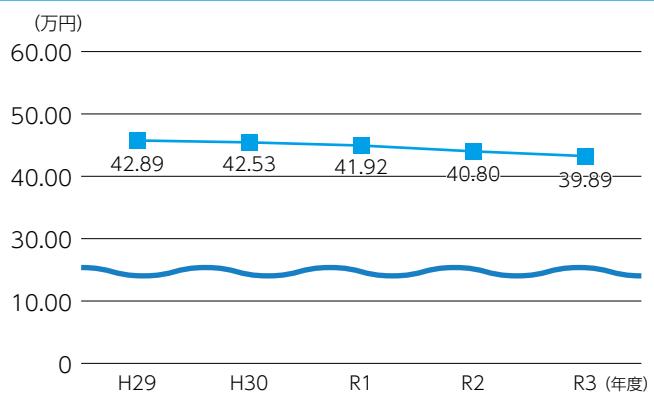
道路の整備や学校などの公共施設を建設するときには、「市債」と呼ばれる借金をしています。借りたお金は整備したものへの耐用年数を考慮し、返済していきます。

ここでは、令和3年度の木津川市の借金の残高（市債残高）を紹介します。

市債残高・基金残高・交付税算入見込額



市民1人あたりの市債残高



※一般会計における市債残高、基金残高、交付税算入見込額です。

市民1人あたり市債残高は、各年1月1日時点の人口で割ったものです。

令和3年度は、内水対策の排水ポンプ施設整備や小学校の増改築などのため、26億円以上の起債を行いましたが、31億円以上の返済を行ったことで、市債残高は減っています。

●借金をする理由

公共施設などの建設にはたくさんのお金がかかりますが、その年度だけで支払ってしまうと他の行政サービスが十分にできなくなってしまうおそれがあります。また、施設は長期間にわたり使いますので、市債を活用して負担を平準化することで、今住んでいる市民だけでなく、将来施設を利用する市民も含めて負担を平等にしています。

また、学校の建設や道路の整備など国が進める事業を行うための市債には、返済費用の一部を国が地方交付税で負担してくれるものもあります。この制度を使えば、実質的に木津川市にとっては返済にかかる負担が減ることになります。

令和3年度決算における一般会計の市債残高に対する実質的な借金は、市債残高から交付税算入額を差し引いた約105億円となります。

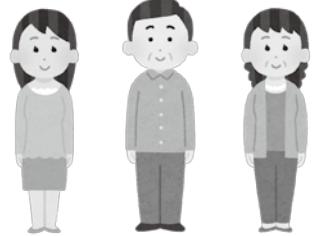
○市債を使わないで事業を行うと…

市民負担

現在の市民が建設費用を全額負担。
将来の市民は負担なし。



現在の市民



将来の市民

○市債を使うと…

将来の
市民負担

将来の市民も平等に建設費用を負担。

市民負担

市民負担

市民負担

市民負担



現在の市民



将来の市民

健全化判断比率の状況

●財政の健全度を示す健全化判断比率

地方自治体の財政破綻を未然に防ぐために、財政の健全度を客観的に判断する指標として「健全化判断比率」の公表が法律で義務付けられています。

ここでは、全部で4つある健全化判断比率のうち、2つをピックアップして、令和3年度の数値を紹介します。

木津川市の財政は、
すべての指標で、
健全段階となっています。



実質公債費比率

令和3年度：9.3%

- 借金の返済額などが財政規模に対し、どの程度なのかを示す指標です。比率を高めないためにも、計画的な地方債の借り入れが必要です。
- 国が定める早期健全化基準（25.0%）を大きく下回っており、財政の健全性が保たれているといえます。

家計に例えると

実質公債費
比率

年間の
借金返済額

=
年収

将来負担比率

令和3年度：11.2%

- 借金や複数年にわたる契約により約束された支払いなど、将来支払わなければならない債務が財政規模に対し、どの程度なのかを示す指標です。
 - 国が定める早期健全化基準（350.0%）を大きく下回っています。
- 今後も注意しながら健全化の取り組みを進めていきます。

家計に例えると

将来負担
比率

ローンやカード等
の返済予定総額

=
年収

●健全化判断比率の推移

上で紹介した指標のほかに、「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」という指標がありますが、直近5年間では、すべての健全化判断比率で早期健全化基準を下回り、健全段階を維持しています。

国が定める基準

区分	H29	H30	R1	R2	R3	早期健全化基準(R3)	財政再生基準(R3)
実質赤字比率	赤字なし (▲1.50%)	赤字なし (▲1.82%)	赤字なし (▲2.42%)	赤字なし (▲3.00%)	赤字なし (▲5.09%)	12.54%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし (▲20.50%)	赤字なし (▲19.73%)	赤字なし (▲20.29%)	赤字なし (▲20.40%)	赤字なし (▲21.78%)	17.54%	30.00%
実質公債費比率	10.3%	9.6%	9.1%	9.0%	9.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	33.2%	35.1%	30.0%	20.3%	11.2%	350.0%	

その他の財政指標

健全化判断比率のほかに、木津川市の財政状況をあらわす様々な指標がありますが、ここでは、財政の余裕を示す「経常収支比率」と「財政力指数」について紹介します。

令和3年度は、
経常収支比率は改善していますが、
財政力指数は悪化しました。

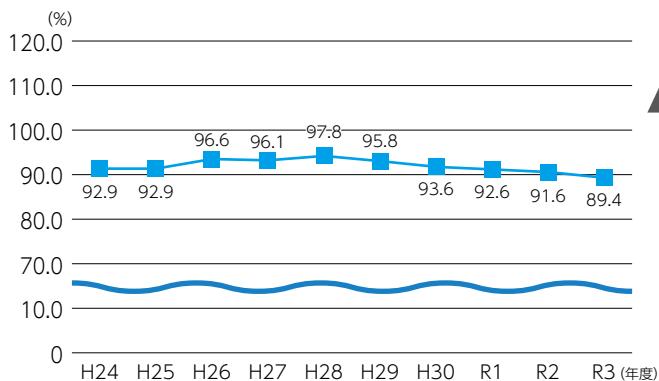


©木津川市

経常収支比率

令和3年度：89.4%

○経常的な収入に対して毎年の支払いがあるものに使ったお金の割合です。比率が高いほど、行政サービスの新たな取組や充実を図る余裕がないことを示します。



高いほど余裕がない

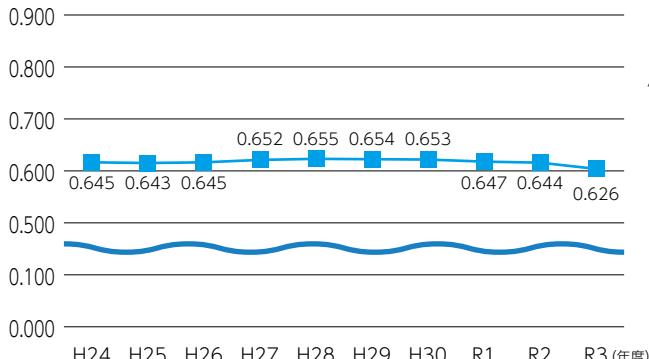
$$\text{家計に例えると} \\ \text{経常収支比率} = \frac{\text{食費や家賃など}}{\text{給料など}} \times 100\%$$

○経常収支比率は平成28年度をピークに少しずつ低くなっていますが、さまざまな市民サービスや行政運営に必要な費用が増えており、財政の硬直化には注意が必要です。

財政力指数

令和3年度（3か年平均）：0.626

○国が定める基準による標準的な行政サービスにかかるお金を、どれくらい自分の収入で賄えているかを表す指標です。値が大きいほど財政力が強く、1より小さいとお金が不足している状態として、国から「普通交付税」が交付されます。



高いほど財政力が強い

$$\text{家計に例えると} \\ \text{財政力指数} = \frac{\text{給料など}}{\text{標準的な生活に必要な費用}} \times 100\%$$

○標準的な行政サービスにかかるお金が年々増えており、必要なお金を自分の収入だけでは賄えていないため、普通交付税の交付を受けています。

令和3年度の主な事業



令和3年度の
事務、事業を
紹介します。

©木津川市

令和3年度は、第2次木津川市総合計画にそって、子育て支援、ICT教育の推進、待機児童対策や妊産婦健康診査などの事業を行いました。特に児童数の急増や施設老朽化の対応、内水対策、教育環境の整備にかかる取り組みの進捗が大きな特徴でした。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、国が進めるワクチン接種や給付金事業を行うとともに、感染拡大防止対策や市民生活・事業者支援の取り組みを行いました。

それでは、第2次木津川市総合計画に掲げる7つの基本方針にそって紹介します。

基本 方針 1 ともに「学び」「喜び」「成長し」 未来を生きる子どもを育むまちづくり

認定こども園に対する給付など 17億2,300万円	妊産婦健康診査費 5,637万円
<p>子どもたちの健やかな成長のため、市外保育所、市内・市外の認定こども園に委託料や施設型給付費を支払いました。また、家庭的保育事業や小規模保育事業を行う保育施設に地域型保育給付費を支払いました。</p> <p>幼児教育・保育の無償化により、認定を受けた保護者に幼稚園の預かり保育・認可外保育施設などの利用給付費を支払いました。</p>	<p>出産までに定期的に受診された健康診査と子宮頸がん検査、血液検査、超音波検査などの追加健診の費用を負担しました。また、産後間もない時期のこころや身体の健康状態を確認するために受診された産婦健康診査の費用を助成しました。</p> 
小中学校の在り方検討委員会 122万円	城山台小学校第2体育館(ひだまりホール)・児童クラブ3号館新設と中庭改修 5億1,467万円
<p>児童生徒にとって安心・安全で良好な教育を目指し、将来の子どもたちの教育環境を整えていくため、市立小中学校の在り方を検討する委員会を設置しました。</p>  <p>委員会で教育環境を検討するようす</p>	<p>児童の様々な活動場所の確保と市民の避難場所としての機能向上のため、城山台小学校に第2体育館と城山台児童クラブ3号館を新設し、校舎中庭を改修しました。</p>  <p>新築した城山台小学校第2体育館</p>
木津小学校と相楽小学校の校舎改築・改修 8億699万円	ICT教育の推進 4億1,044万円
<p>児童の安全確保と快適な学校生活が過ごせるよう、老朽化した校舎の改築などに向け、両校の仮設校舎の設置を行い、木津小学校新校舎の建築と相楽小学校中校舎の長寿命化改修に着手しました。</p> 	<p>ICT機器やデジタル教材などを活用し、分かりやすい授業や学習への興味・関心を高める授業を実施するため、プロジェクターとスクリーンの更新やタブレット型パソコンなどを導入しました。また、個別最適化学習デジタルドリルの整備と支援員導入のため、デジタル教材使用料などを支払いました。</p>

基本方針2 誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり

生活保護、生活困窮者自立支援 8億4,499万円	共同浴場やすらぎの湯の改修 4,409万円
生活に困っている方が健康で文化的な最低限度の生活ができるよう経済的支援を行うとともに、自立した生活ができるよう、相談体制の確立と就労支援を行いました。また、住居と働く機会を確保するため、住居を失うおそれのある方に住居確保給付金を支給しました。	共同浴場やすらぎの湯の老朽化が進んでいたため、屋根、床、壁などの改修を行いました。  床を改修したやすらぎの湯のホール
総合がん検診 1億1,203万円	社会教育施設の改修、長寿命化 7,170万円
がんの早期発見・早期治療のため、大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施しました。また、子宮頸がん検診・乳がん検診の対象となる方のうち962人に自己負担金が無料となるクーポン券を配付しました。 	生涯学習活動が行われている社会教育施設を、より安全で利用しやすい施設にするため、加茂文化センター空調設備の改修や中央図書館の改修設計など、老朽化している施設の改修を計画的に進め、施設の機能充実に取り組みました。 
城址公園の休憩所等の整備 4,403万円	
城山台小学校の体育授業や城址公園の利用者のために休憩所やトイレの整備工事に着手しました。 (令和4年5月に工事が完了しています。)  整備中の城址公園の休憩所とトイレ	 ©木津川市

基本方針3 一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり

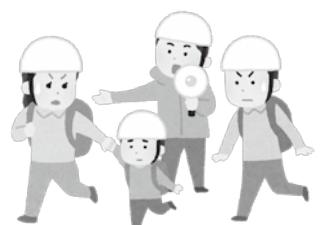
議会のICT化推進 527万円	市制15周年記念事業 97万円
議会のデジタル化を進めるため、ネットワーク環境を整え、タブレット端末（ペーパレス化）の導入を開始しました。  クラウドシステム導入に伴う議員研修会	市制施行15周年を記念し、まちづくりを支えていた方々に敬意と感謝の意をあらわし、表彰及び感謝状贈呈式を挙行しました。また、市民へ15年間のまちづくりの歩みを発信するため、記念パンフレットを配布しました。  表彰及び感謝状贈呈式のようす

基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり

ほ場整備の事業化検討 313万円	企業・研究施設の誘致 2億5,818万円
<p>加茂町高田地域の農地を対象に、ほ場整備にかかる地元の合意形成を図るため、区画割などの概略設計を行いました。</p> 	<p>企業立地を進めることで地域経済の活性化と雇用の創出を促すため、市内に事業場を設置する企業10社に対し助成金を交付しました。</p>  <p>州見台の立地企業</p>
<p>木津川アート2021の開催 945万円</p> <p>「回る帰る（かいき）」をテーマに、これまでに木津川アートに参加した作家が中心となり、現代アート作品の展示を主として、瓶原地域を舞台とした芸術祭を10月31日から11月14日まで開催しました。</p>  <p>恭仁宮跡の展示作品「陽だまりハウス」</p>	<p>木津東地区まちづくり支援 1,981万円</p> <p>学研木津東地区のまちづくりを進めるために、土地利用計画案の作成、概算事業費の算出や基準点測量などを実施しました。</p>  <p>まちづくりを進める学研木津東地区</p>
<p>史跡高麗寺跡の整備完了・遺跡公園開園式 407万円</p> <p>史跡高麗寺跡を公園として活用するための整備工事が完了し、関係者出席のもとで開園式を行いました。</p>  <p>開園式のようす</p>	<p>史跡椿井大塚山古墳防災工事 795万円</p> <p>史跡椿井大塚山古墳の墳丘上の民家に近接する法面防災対策のため、民地所有者と調整を行い工事に着手しました。</p>  <p>上空から見た史跡椿井大塚山古墳</p>

基本方針5 災害などから市民を守り、安心・安全に暮らせるまちづくり

特殊詐欺等防止対策機器購入の補助 21万円	橋りょう点検修繕 1億2,962万円
<p>特殊詐欺の被害を防ぐため、対策機器を購入した24人に補助金を交付しました。</p> 	<p>橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの点検、橋りょう補修設計を実施しました。また、令和2年度に着手した解放橋補修工事と、令和3年度に着手した大正橋・小寺橋の補修工事を完了しました。</p>  <p>補修工事を実施した大正橋</p>

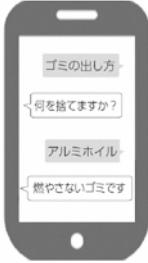
小川内水対策 5億412万円	貝鍋川改修 3,812万円
<p>過去に浸水被害が発生している小川・反田川流域市街地の被害軽減のため、内水排水ポンプ施設の設置に向け、詳細設計業務や用地取得を行いました。また、木津町内垣外地内の排水管路を改修しました。</p> <p>取得したポンプ施設用地</p> 	<p>加茂町大野地内の貝鍋川は赤田川の支川であり、これまで勾配の緩い区間があり、十分な排水ができませんでしたが、赤田川の改修により貝鍋川の勾配をとることができるように改修を行いました。</p> <p>改修を行った貝鍋川</p> 
城山台地域防災倉庫の設置 135万円	防災士養成講座の開催 329万円
<p>自主防災組織が設立された城山台地域の防災機能を強化するため、城山台公園に防災倉庫を設置しました。</p> <p>城山台公園に設置した防災倉庫</p> 	<p>地域住民が防災と減災の知識や技能を身につけ、地域全体の防災意識を向上させるため、防災士を養成する講座を開催し、本年度は53人が受講されました。</p> 

基本方針6 快適で住みよい生活環境と、豊かな自然に恵まれたまちづくり

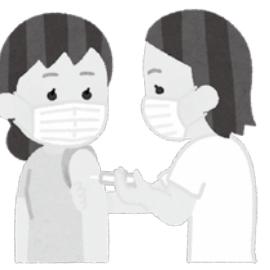
J R 奈良線高速化・複線化第二期事業負担 3億6,127万円	COOL CHOICE普及啓発 499万円
<p>J R 奈良線高速化・複線化第二期事業に必要な土木・軌道工事・電気設備工事などに対して、費用負担を行いました。</p> <p>(令和5年春に同事業の開業を予定しています。)</p> 	<p>地球温暖化対策のため、COOL CHOICEに賛同し、市民や事業者と連携して持続可能な脱炭素社会づくりに向けた取り組みを行いました。初年度である令和3年度は、商業施設における環境イベント「エコフェスきづがわ」を開催したほか、小学校4年生向け学習ハンドブックの配付や小中学校向けオンライン出前授業を実施するとともに、広報折込チラシ・ポスター・のぼりなどの啓発資材を作成しました。</p>
広域道路網の整備 1,889万円	地域内生活道路の整備（木津内田山線、木津川台駅前線） 9,098万円
<p>城陽井手木津川バイパス事業が円滑に進むよう、令和2年度から開始した地籍調査業務を推進しました。</p> <p>城陽井手木津川バイパスの想定ルート（木津川橋から北方を望む）</p> 	<p>歩行者と車両の安全な通行を確保するため、木津駅前東線と木津高校を結ぶ木津内田山線を整備しました。また、木津川台地域と近鉄木津川台駅をつなぐ横断歩道橋の整備のため設計と用地取得を行いました。</p> <p>完成した木津内田山線</p> 

地域間循環道路の整備（梅谷地内の木津中ノ川線） 2,820万円	市営住宅清水団地の建替え 869万円
<p>歩行者と車両が安心、安全な通行を行えるよう、木津中ノ川線の車道の拡幅と歩道の整備を行いました。</p>  <p>拡幅した木津中ノ川線</p>	<p>木津川市営住宅ストック総合活用（長寿命化）計画に位置付けられている清水団地の建替えに向け、基本計画を取りまとめました。</p>  <p>建替えを進める清水団地</p>

基本方針 7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり

本庁舎外壁等改修 7,021万円	市公式LINEの開設 256万円
<p>外壁からの雨水侵入防止など、庁舎の長寿命化のため、外壁などの改修工事に着手しました。 (令和4年5月に工事が完了しています。)</p>  <p>外壁等改修工事を行った本庁舎</p>	<p>必要な人に必要な情報をタイムリーに発信するため、市公式LINEの開設を行いました。</p>  <p>公式LINE「分別検索」機能のイメージ</p>
RPAの本格導入と新規検証 495万円	書かない窓口の導入 2,486万円
<p>新型コロナウィルスワクチン接種事業にRPAを導入するとともに、今後導入の可能性がある業務についての検討を行い、業務の負担軽減と効率化に取り組みました。</p> 	<p>新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として窓口利用者の滞留防止のため、「書かない窓口」をシステム化し、来庁者の利便性を高めました。</p>  <p>書かない窓口のようす</p>
マイナンバーカードの交付推進 7,205万円	奈良市との広域連携 522万円
<p>イオンモール高の原に木津川市マイナンバーサービスセンターを設置し、マイナンバーカードの普及促進と市民サービスの向上に取り組みました。</p> 	<p>奈良市との連携・協力に関する協定に基づき、木津川市民も奈良市立北部図書館を利用できます。また、パソコン、スマートフォン、タブレットで本が読める奈良市電子図書館も利用できます。</p> 

新型コロナウイルス感染症対策にかかる事業

庁舎窓口カウンターなど飛沫拡散防止パネル設置 709万円	非課税世帯等臨時特別給付金 4億9,944万円
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、窓口カウンターや執務室内に飛沫拡散防止パネルを設置しました。 	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、住民税非課税世帯等の方の生活や暮らしの支援を行うため、臨時特別的な給付措置として、4,859世帯に1世帯当たり10万円の給付金を支給しました。
子育て世帯への臨時特別給付金 14億9,457万円	新型コロナワクチン接種 7億263万円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、子育て世帯への臨時特別給付金を14,882人に支給しました。 	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、市民の生命と健康を守るために、新型コロナワクチン接種を行いました。 
「木津川茶茶茶」応援事業 2,000万円	中小企業等緊急支援 1億2,364万円
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた茶業従事者を支援するため、加茂町のかぶせ茶と山城町のてん茶を買い上げ、ティーバッグに加工し、市内の小・中学校などに配付し、木津川市産お茶をPRしました。  配付したティーバッグ「どんなあじ？」	市内企業などが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために、必要となる備品の購入費（493件）を補助しました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、事業のDX（※1）に取り組む市内事業者を支援するため、ホームページやECサイト（※2）構築費（73件）を補助しました。  非接触型体温計兼アルコールディスペンサー
妊婦特別給付金 6,690万円	市立小中学校へのCO₂センサーなどの設置 1,227万円
新型コロナウイルス感染症の影響による妊婦の経済的負担を軽減するため、妊婦1人につき10万円の妊婦特別給付金を支給しました。 	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、市立小中学校にCO ₂ 濃度測定器と非接触型自動体温測定器を配置しました。  小中学校に設置されたCO ₂ センサー

※1 DX (Digital Transformation) とは・・・

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することです。

※2 EC (electronic commerce) サイトとは・・・

インターネット上に開設した商品を販売するウェブサイトのことです。

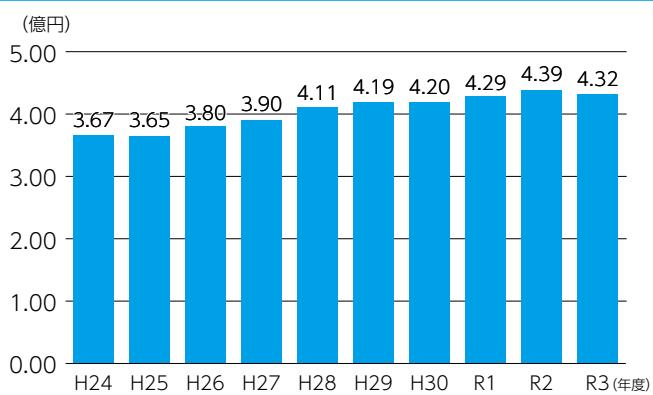
都市計画税に関する事業

●都市計画税

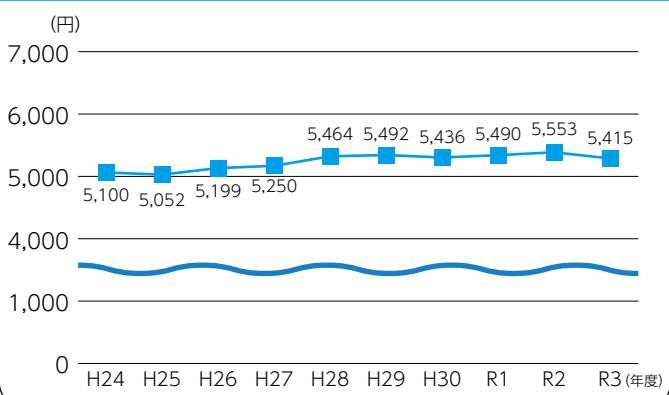
都市計画税は、市街化区域内に土地や建物を所有される方に課税される税金です。これは、市街化区域内で行われる道路や下水道のインフラ整備などに必要な費用をまかなう目的で課税されます。

税率は、上限0.3%ですが、木津川市では、0.15%としています。

都市計画税



市民1人あたりの都市計画税



※市民1人あたりの都市計画税は、各年1月1日時点の人口で割ったものです。

●実施している都市計画事業

令和3年度は、市民のみなさんから納めていただいた都市計画税4億3,162万円は、一般財源9億2,702万円に含め、下水道の整備や都市計画事業のために借りた借金の返済に活用しています。

今後の都市計画事業については、都市計画マスターplanを基本として実施していきます。

(単位：万円)

事業の内訳	歳出額
公共下水道事業会計への負担金	73,583
都市計画事業に充当した市債の償還金	19,119
歳出合計	92,702

(単位：万円)

財源の内訳	歳入額
一般財源	92,702
うち都市計画税	43,162
歳入合計	92,702



下水道の整備（7億3,583万円）



借金の返済（1億9,119万円）

京銀アプリで 詳しくはコチラ

口座開設
来店不要で口座開設!
スマート通帳へ切替
これからはスマホが通帳!

アリで残高照会・入出金明細もすぐわかる♪

京都銀行 木津支店 TEL.0774(72)2211

これからも・いっしょ・なら・ワクワク

奈良信用金庫 ならしん 検索

当金庫のキャッシュカードで当金庫ATMをご利用の場合、ATM入出金手数料が終日無料!

木津川梅美台出張所 ☎0774-72-4411

一緒にがうれしい On Your Side

みなさまのすぐとなりに京都中央信用金庫がいます。

京都中央信用金庫

木津支店 木津支店 棚倉出張所 ☎0774(72)5151
加茂町支店 山田川支店 ☎0774(76)2345 ☎0774(72)7111

木津川市の家計簿



©木津川市

木津川市の1年間の
収入と支出を一般家庭の家計簿に例えて紹介します。
令和3年度の一般会計決算額を市民ひとりあたりにすると、
約42万円のお金を使ったことになります。
わが家では、給与が約25万円で、支出は約42万円でした。
そこで、親から約13万円の仕送りを受けて、さらにローン
約3万円を借り入れましたが、まだ不足する約2万円は
貯金を引き出して、やりくりしました。

市民ひとりあたりの収入 (歳入)	令和3年度	令和2年度
給与 (市税、各種譲与税、交付金など)	252,877	245,403
親からの仕送り (国庫・府支出金など)	133,887	202,737
ローンの借入 (市債)	33,425	28,314
貯金からの引出し (繰入金・繰越金)	18,941	12,549
合 計	439,130	489,003

令和4年1月1日現在の木津川市全人口	79,708人
令和3年1月1日現在の木津川市全人口	79,038人

収支のバランスを見て、
私たちの住むまちを
良くするために、
必要なことにお金を使う
ことが大事です。



©木津川市

市民ひとりあたりの支出 (歳出)	令和3年度	令和2年度
食費 (人件費)	62,608	59,783
医療費、学費など (扶助費)	105,668	82,780
光熱水費、日用品費 (物件費)	60,319	48,256
子どもへの仕送り (繰出金)	27,877	27,918
家の修繕・増改築費 (維持補修費、普通建設事業費、災害復旧事業費)	49,518	40,435
ローンの返済 (公債費)	40,869	37,314
町内会費、サークル活動など (補助費等)	68,566	169,055
貯金・投資 (積立金、投資及び出資金)	5,313	14,059
合 計	420,738	479,600

※金額は、令和3年度と令和2年度の決算額を各年1月1日時点の人口で割ったものです。

令和3年度木津川市決算のあらまし

発 行 令和4年12月 木津川市役所総務部財政課
電話番号 0774-72-0501(代表)
0774-75-1202(直通)
E-mail zaisei@city.kizugawa.lg.jp



木津支店・山田川出張所 Tel. 0774-72-0651
上狹支店（共同店舗）
加茂支店 Tel. 0774-76-3411
カーテンモール出張所 Tel. 0774-71-3760



木津支店 Tel: 0774-72-1771
山城支店 Tel: 0774-86-2276
加茂支店 Tel: 0774-76-2063

木津川市で広告を出しませんか？

木津川市では、「広報きづがわ」、「市ホームページ」、「予算のあらまし・決算のあらまし」での有料広告を募集しています。
詳しくは、

木津川市 有料広告

検索